

講義名称	児童家庭福祉	担当教員名	茂木 健司
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の本質・目的 (EG) 必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMEG1103

授業のキーワード	子ども家庭福祉の基礎理念、現代社会と子どもを巡る諸問題、子ども家庭福祉政策
授業の概要	子ども家庭福祉の理念や法制度、現場で直面している今日的な課題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的知識習得のために、バズセッションやロールプレイなどを取り入れ、アクティブラーニングを行います。
期待される学習成果 (目標)	1. 基礎的知識を得られ、子ども家庭福祉の理念や制度を説明できるようになります。 2. 困難な状況におかれた子どもやその家庭への支援について、多角的にとらえられることができるようになります。

#### 授業展開

回	テーマ	内 容
1	ガイダンス、受講上の留意点	スケジュールなど全体の枠組みの確認と、学びの方法を確認します。
2	現代社会における意義と歴史の変遷	子ども家庭福祉の理念と概念、歴史の変遷、現代社会と子ども家庭福祉について学びます。
3	子どもの人権擁護	子どもの人権擁護の歴史の変遷、権利条約、現代社会における課題について学びます。
4	子ども家庭福祉の制度と実施体系	子ども家庭福祉の制度と法体系、実施体系、児童福祉施設、専門職について学びます。
5	子ども家庭福祉の現状と課題 (1)	少子化と地域子育て支援、母子保健と子どもの健全育成について学びます。
6	子ども家庭福祉の現状と課題 (2)	多様な保育ニーズへの対応について学びます。
7	子ども家庭福祉の現状と課題 (3)	子ども虐待・DV (ドメスティックバイオレンス) とその対応について学びます。
8	子ども家庭福祉の現状と課題 (4)	子ども虐待・DV (ドメスティックバイオレンス) とその防止について学びます。
9	子ども家庭福祉の現状と課題 (5)	社会的養護について学びます。
10	子ども家庭福祉の現状と課題 (6)	障がいとともに生きる子どもへの対応について学びます。
11	子ども家庭福祉の現状と課題 (7)	少年非行への対応について学びます。
12	子ども家庭福祉の現状と課題 (8)	貧困家庭、外国にルーツを持つ子どもとその家庭への対応について学びます。
13	子ども家庭福祉の動向と展望 (1)	地域における連携・協働とネットワークについて学びます。
14	子ども家庭福祉の動向と展望 (2)	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進、諸外国の動向について学びます。
15	まとめとふりかえり	まとめと振り返りを行い、自身の今後の学習課題の明確化を目指す。また、レポートの説明。

定 期 試 験	子ども家庭福祉全体の理解を問い、自身の今後の学習課題を明確にするレポート
授 業 時 間 外 学 習	教科書や参考書を積極的に読み進めることが望ましい。
評 価 方 法	学期末のレポート60%、提出物30%、授業貢献度10%により総合的な評価を行う。
使用する教科書 (必ず購入してください)	川並利治・和田一郎・鈴木勲編『保育者養成のための児童家庭福祉』 (仮題) 大学図書出版 2018年3月出版予定
参 考 文 献	子どもの貧困白書編集委員会編『子どもの貧困白書』明石書店 爽竹桃ジン『ちいさいひと』『新・ちいさいひと』小学館